

花巻東16強



力投する花巻東先発の北條 13日、甲子園

岩手日日新聞社
一関市東台14番地37
郵便番号 021-8687
編集局 0191(26)4204
©岩手日日新聞社

クラーク国際に2-1

電子号外

クラーク	0	0	0	0	0	0	1	0	0	計	1
花巻東	0	0	0	1	0	0	0	1	×		2

第105回全国高校野球選手権記念大会第8日は13日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で2回戦が行われ、本県代表の花巻東(4年ぶり11度目出場)は北北海道代表のクラーク記念国際(7年ぶり2度目出場)を2-1で下し、16強入りを果たした。

左前適時打で勝ち越した。先発した北條は6回無失点と好投。救援した小松龍一(2年)が八回1死1、二塁とされた場面で見舞われ1時間34分にわたって中断したが、再開後に代わった中屋敷祐介(3年)が後続を断って流れを引き寄せた。

花巻東は四回、先頭の2番熊谷陸(3年)の二塁打を足がかりに1死三塁とする。来8年ぶり。

花巻東の次戦は大会第11日(16日)の3回戦第2試合

三塁を強襲する内野安打で先制。七回に同点とされたが、八回に2死1、二塁から5番千葉柚樹主将(3年)の戦する。

花巻東の次戦は大会第11日(16日)の3回戦第2試合で、奈良県代表の智弁学園が、八回に2死1、二塁から5番千葉柚樹主将(3年)の戦する。

詳細は15日付本紙で

ご購入のお申し込みは「岩手日日」販売店、またはフリーダイヤル(0120)260945

◆宅配月額3150円。+330円で電子新聞併読プランも。電子新聞単独プランは2445円。※税込み、郵送料別途